

第49回町民文化祭

将棋大会結果

10月15日(土)町民会館で開催の将棋大会の結果は、次のとおりです。

▽A級	優勝 森 俊文(船越)	準優勝 石原 圭(萩原)	3位 藤井 儀守(呉地)	3位 金原 秀三(東広島市)	3位 岩見 覺行(焼山)	▽B級	優勝 青森 大輝(萩原)	準優勝 津川 照明(平谷)	3位 東閑 勝(志和町)	3位 岩見 覺行(焼山)	▽C級	優勝 山井 知哉(出来庭)	準優勝 岡田 泰河(呉市)	3位 世良 紀子(呉地)	3位 武下 紀子(中溝)	◇筆の都くまの町民文化祭 実行委員会
-----	-------------	--------------	--------------	----------------	--------------	-----	--------------	---------------	--------------	--------------	-----	---------------	---------------	--------------	--------------	--------------------

(生涯学習課)

「この本、よかった！」(39) 『ぐるんぱのようちえん』 作・西内ミナミ 絵・堀内誠一 (福音館書店)

皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」、今月は初神保育園からです。 勝部 夢望(うめ組)

お話の中でぐるんぱは、色々な大きな物を作ります。大きなビスケットを作る所と最後に幼稚園になる所の絵が大好きです。私もぐるんぱの幼稚園に行ってみたくいつも思います。

勝部 稚加(母)

この絵本は、私の実家にあつたものです。こうして娘に受け継がれ嬉しく思います。文章にカタカナが使われていないので、字を覚え始めたお子さんに読みやすいと思います。



(生涯学習課)

くまどく図書室紹介

くまの・みらい保育園

くまの・みらい保育園では、月に2回親子貸し出し日があり、季節の絵本や保育士のお勧め絵本などを紹介しています。

保護者と絵本を読んだり、いすに座って一緒に読んだり、親子のほっとした一時となります。絵本コーナーの利用を楽しみにしています。



※くまどくを推進するコーナーです。(生涯学習課)

郷土館展示のお知らせ

「熊野高校書道部作品展」

熊野高校書道部の1年生から3年生までの、とても素晴らしい作品が10点飾られています。ぜひ、ご覧ください。

▷期間：平成29年1月29日(日)まで 10:00~16:00

▷開館日：土・日・祝日

◎郷土館 2階

◎無料

※郷土館展示を随時、募集しておりますので、希望される人は、役場生涯学習課まで、ご連絡ください。



◎生涯学習課 ☎820-5621

「実用書道」実施

熊野高等学校

この地に (249)

筆が育つ 筆が育つ

11月2日(水)熊野高校「実用書道」が始まりました。この学習は、熊野町の伝統産業である「筆づくり」について関心を持ち、伝統文化を継承していく態度を育てていくことを目的に行っています。

今年度も「熊野筆」に係わる仕事をされている方、書道の指導者として熊野町で活躍されている先生方に本校へお越しいただき、各生徒に名入りの熊野筆(小筆)を使って実用書の指導をいただいています。毎年、指導していただいている先生方もいらっしゃるため、年3回のこの学習を楽しみにしている生徒もいます。11月2日は3学年の第1回の学習で、就職内定のお礼状を書きました。日常ではほとんど使用することがない小筆ですが、一字一字慎重に集中して書いている生徒たちの姿が見られました。今後年賀状、熨斗袋の表書き、手紙文など2月半ばまで、学年ごとに様々な小筆書きの実用書を学んでいきます。文字を集中して書くことで、心を落ち着かせ、成就感を味わい、筆文字を書くことの楽しさや、熊野筆の良さを感じる「実用書道」は、本校ならではの意義深い学習として継続していきたいと思っています。



「講師から指導を受けている様子」

◎熊野高等学校 ☎854-4155

熊野町 教育委員会

やまびこ

(30)

“本は頭と心の栄養です！”(くまの町の『読書の秋』)

「絵本専門士」という資格をご存じですか? 文部科学省所管の独立行政法人、【国立青少年教育振興機構】が認定している資格です。絵本に関わる実務経験が3年以上ある人で絵本の歴史や読み聞かせの方法について学び、レポートなどの課題をクリアして書類選考を通過した人が認定されます。全国には約100人の絵本専門士の方がおられ、広島県ではただ一人(広島市中区の大平秀雄氏)だそうです。熊野町では認定こそしてはもらってはいませんが、町立図書館や子育て支援センター、幼稚園・保育園・小学校等で、たくさんの読書ボランティアの方々が絵本の読み聞かせをしてくださっています。

熊野町での「絵本の読み聞かせ」という心温まる活動は、平成13年に熊野第三小学校でスタートしました。現在も公民館活動として続けられている「子ぐま絵本の会」と「めだか絵本の会」の方々が、朝の授業開始前の10~15分に学校まで出かけてくださり、各クラスの前で絵本を読んでくださったのが始まりでした。今では、町立図書館でも幼稚園・保育園でも当たり前のように「絵本の読み聞かせ」がなされています。絵本は3歳の幼児が聞いても小学生が聞いても、中学生が読んで大人が読んで、心に訴えるものがあり、豊富な情景描写や著者の思い以上の読みの深さを感じることができたりします。

新生児が母親のお腹の中で五感を発達させていくとき、聴覚はかなり早い時点でその力を発揮してきます。音は水の中で伝わりやすいものですが、赤ちゃんが育っている羊水は外界の音を吸収してくれているのだと思います。胎教で「モーツアルトの音楽を聴かせる」と情緒豊かな子どもになる」と言う話も納得できます。親が赤ちゃんを膝に抱いて絵本を読み聞かせることは「絵本の読み聞かせ」の原点です。熊野町では子育て支援センターや図書館で「ブックスタート」が広がっています。生後5カ月になると町内すべての赤ちゃんに『いないいないばあ』の絵本をプレゼントしています。耳と目から頭脳へ、そして全身へ、物語の心が伝わります。

学校の図書室や幼稚園・保育園の絵本コーナーを訪ねてみました。担任や司書の先生方がどんな本を紹介しようかといろいろ工夫しておられる様子や、毎日の生活や学習の中で精一杯活動している子ども達にとって図書室がホッとできる場所になるよう心がけておられることを感じることができました。熊野の子ども達はたくさんの素敵な本に囲まれて幸せです。

子育て支援センターのブックスタート



ひかり学園絵本のへやで読み聞かせ



広告

生徒募集中

そろばん(算数)

- ・幼児かきかたランド
- ・そろばん教室
- ・小1.2.3対象
- ・読み書きそろばん絆教室
- ・毛筆硬筆書写教室



読み(英会話)

書き(硬筆毛筆)



読み・書き・そろばんの サンライトスクール 中溝4丁目9-11 / 東山4-4 Tel 082-854-0101